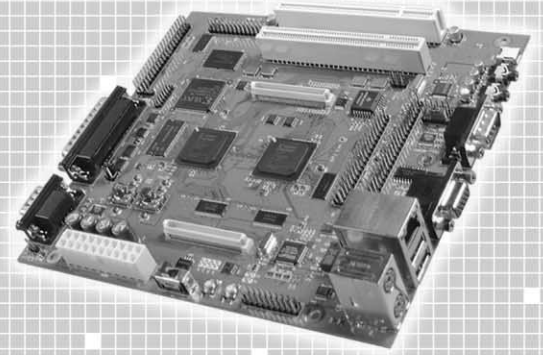


組み込みシステム 開発評価キット 活用通信

大牧 正知/山武 一朗



第13回 MicroBlaze新メモリ・マップ対応割り込みハンドラの作成とブレイク信号の追加

1. 新メモリ・マップ対応版 サンプル・プログラムの作成

新メモリ・マップ版での割り込みコントローラの構造

図1に新メモリ・マップ版での割り込みコントローラの構造を示します。

BLANCAシステム・バス上での割り込みは、A/VプロセッサのBLANCAシステム・バス上に接続するBLANCA割り込みコントローラに接続されます。I/Oプロセッサ内のコントローラの割り込み出力は、FPGAの外部I/O信号を伝ってA/Vプロセッサ内に実装したBLANCA割り込みコントローラに接続されます。この部分は旧メモリ・マップ版も同じです。

このBLANCA割り込みコントローラで1本化された割り込み信号を、旧メモリ・マップ版ではMicroBlazeの割り込み入力に直接接続していました。

新メモリ・マップ版では、EDK標準添付のMicroBlaze標準の割り込みコントローラOPB_INTCが追加され、BLANCAシステム・バス上の割り込みはこのOPB_INTCに接続することになりました。つまり割り込みコントローラが2段構成になった形となります。

OPB_INTCを追加したので、EDK標準添付のUARTやタイマの割り込みも割り込み駆動が可能になるよう、割り込み信号を接続しています。

割り込み使用サンプル・プログラム

新メモリ・マップの上で割り込みを使ったサンプル・プログラムを動かしてみましょう。ここでは割り込みを使うサンプル・プログラムとして最も簡単なBLANCAタイマ・コントローラ用のサンプル・プログラムを示します。

リスト1にOPB_INTCでBLANCAシステム・バスからの割り込みをハンドリングするためのCPU固有割り込み初期化および割り込み処

理関数を、リスト2にタイマ割り込みサンプル・プログラム(Timer.C)を示します。

リスト1のCPU_IntInitialize()関数でOPB_INTCのBLANCAシステム・バスからの割り込みを受け付けるよう初期化します。EDKのバージョン9以前は、MicroBlazeの割り込み処理関数はEDKのメニュー上から関数名を入力することで設定できましたが、EDK9.1iからはこの方式がなくなりました。それに代わり、リスト1のCPU_IntInitialize()関数内に記述があるように、割り込みハンドラの登録関数(XIntc_Connec)などを使って、割り込み処理関数を登録する方式となりました。

そしてBLANCAシステム・バスで割り込みが発生すると、

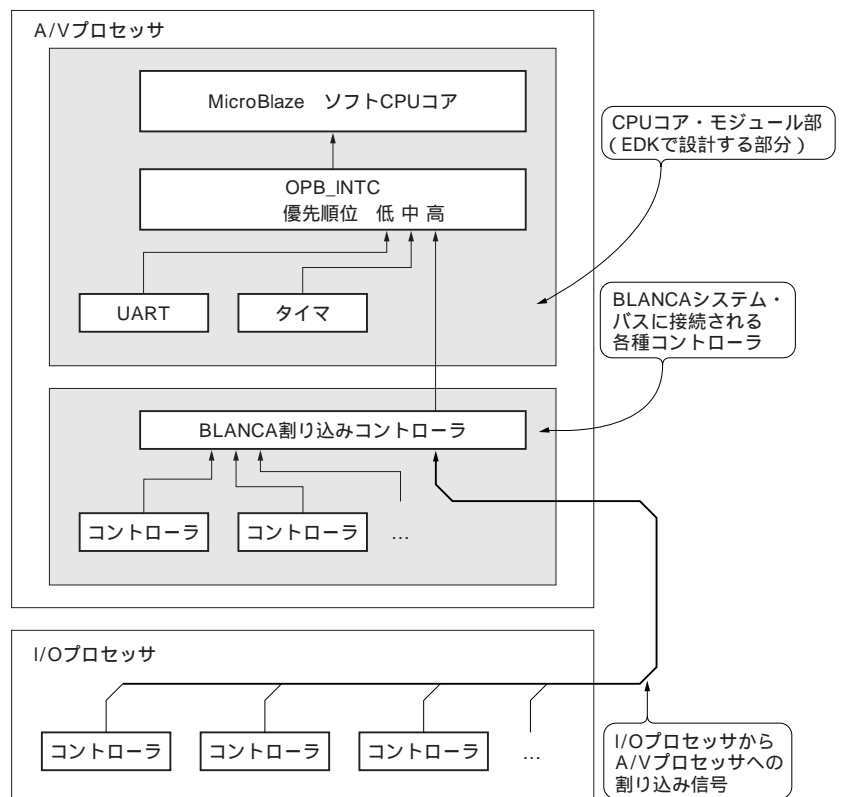


図1 MicroBlaze新メモリ・マップ版での割り込みコントローラの構造

リスト2の BLANCA_Interrupt() 関数が呼び出されます。

リスト2にはCPUに依存する部分はないので、M32R用などほかのCPU用のタイマ割り込みサンプル・プログラムも全く同じソースとなっています。

GCCを使う場合の割り込みハンドラ

本誌2007年12月号の特集記事および付属DVD-ROMには、MicroBlaze用のGCCも収録されています。MicroBlazeのハードウェアはサンプル設計プロジェクトのものをそのまま使い、

リスト1 EDK向けCPU固有処理ルーチン(CPU_INIT.C)

```

/** CPU各種初期化 **/
/* MicroBlaze用各種ヘッダファイル */
#include "xintc.h"
#include "xparameters.h"
#include "mb_interface.h"
/* CPU外部バス初期化 */
void CPU_BusInitialize(void)
{
    /* 初期化の必要なし */
}

/* CPU割り込み初期化 */
void CPU_IntInitialize(void)
{
    /* 割り込みコントローラの初期化 */
    XIntc_Initialize(&Intc, XPAR_OPB_INTC_0_DEVICE_ID);
    /* 割り込みハンドラの登録 */
    XIntc_Connect(&Intc,
        XPAR_OPB_INTC_0_SYSTEM_MICROBLAZE_0_INTERRUPT_PIN_INTR,
        (XInterruptHandler)BLANCA_Interrupt, 0);
    /* 割り込みコントローラのグローバル・イネーブル */
    XIntc_Start(&Intc, XIN_REAL_MODE);
    /* 割り込みコントローラの外部割り込み入力のイネーブル */
    XIntc_Enable(&Intc,
        XPAR_OPB_INTC_0_SYSTEM_MICROBLAZE_0_INTERRUPT_PIN_INTR);
}

```

BLANCA_Interrupt
関数を割り込み処理
関数として登録

リスト2 BLANCA タイマ割り込みサンプル・プログラム(Timer.c)

```

/*****
 * タイマ・テスト・プログラム
 *****/
/* CPU固有機能定義ヘッダ */
#include "cpu.h"

/* CPU初期化ルーチン・ヘッダ */
#include "cpu_init.h"

/* CPU UART入出力ヘッダ */
#include "cpu_uart.h"

/* BLANCAシステム用各種ヘッダ */
#include "blanca_bios.h"
/* 簡易ライブラリ・ヘッダ */
#include "cqlib.h"

/* タイマ・コントローラ・リソース情報構造体 */
struct BLANCA_RESOURCE TIME;
#define TIME_Signature BLANCA_SIGN("TIME") /* 'TIME' */
#define TIME_SysClkKHz ((volatile unsigned int *) (TIME.BaseAdr+0x10))
#define TIME_A0ctrl ((volatile unsigned int *) (TIME.BaseAdr+0x20))
#define TIME_A0count ((volatile unsigned int *) (TIME.BaseAdr+0x24))
#define TIME_A0compare ((volatile unsigned int *) (TIME.BaseAdr+0x28))
#define TIME_A1ctrl ((volatile unsigned int *) (TIME.BaseAdr+0x30))
#define TIME_A1count ((volatile unsigned int *) (TIME.BaseAdr+0x34))
#define TIME_A1compare ((volatile unsigned int *) (TIME.BaseAdr+0x38))
#define TIME_B0ctrl ((volatile unsigned int *) (TIME.BaseAdr+0x80))
#define TIME_B0count ((volatile unsigned int *) (TIME.BaseAdr+0x84))
#define TIME_B0compare ((volatile unsigned int *) (TIME.BaseAdr+0x88))
#define TIME_B1ctrl ((volatile unsigned int *) (TIME.BaseAdr+0x90))
#define TIME_B1count ((volatile unsigned int *) (TIME.BaseAdr+0x94))
#define TIME_B1compare ((volatile unsigned int *) (TIME.BaseAdr+0x98))

volatile unsigned int TimerA0_Int; /* 割り込み発生フラグ */
volatile unsigned int TimerA1_Int; /* 割り込み発生フラグ */
volatile unsigned int TimerB0_Int; /* 割り込み発生フラグ */
volatile unsigned int TimerB1_Int; /* 割り込み発生フラグ */

/* 割り込み処理ルーチン */

void BLANCA_Interrupt(void)
{
    unsigned int stat;
    stat=*AVP_IntStatus; /* AVP割り込み要因チェック */
    if (stat&(1<<TIME.ChipSelect)) {
        stat=*TIME_A0ctrl; /* タイマA0ステータス取得 */
        if (stat&0x80000000) { /* 割り込み発生 */
            TimerA0_Int = 1; /* タイマA0割り込みフラグ・セット */
            *TIME_A0ctrl=stat; /* タイマA0割り込みクリア */
        }
        stat=*TIME_A1ctrl; /* タイマA1ステータス取得 */
        if (stat&0x80000000) { /* 割り込み発生 */
            TimerA1_Int = 1; /* タイマA1割り込みフラグ・セット */
            *TIME_A1ctrl=stat; /* タイマA1割り込みクリア */
        }
        stat=*TIME_B0ctrl; /* タイマB0ステータス取得 */
        if (stat&0x80000000) { /* 割り込み発生 */
            TimerB0_Int = 1; /* タイマB0割り込みフラグ・セット */
            *TIME_B0ctrl=stat; /* タイマB0割り込みクリア */
        }
        stat=*TIME_B1ctrl; /* タイマB1ステータス取得 */
        if (stat&0x80000000) { /* 割り込み発生 */
            TimerB1_Int = 1; /* タイマB1割り込みフラグ・セット */
            *TIME_B1ctrl=stat; /* タイマB1割り込みクリア */
        }
    }
}

/* メイン・ルーチン */
int main(void)
{
    int i,h,m,s,Time_Count;
    char c;

    CPU_BusInitialize(); /* CPUバス周辺初期化 */
    CPU_UartInitialize(); /* コンソール用UART初期化 */

    i=BLANCA_BIOS_Initialize(); /* BLANCA BIOS初期化 */
    if (i<0) {
        CPU_UartPuts("\nBLANCA BIOS initialize error!\n");
        return -1;
    }
    CPU_UartPuts("\n\n");
    /* これ以降から printf 関数が見える */
    cq_printf("%s\nBLANCA BIOS initialize ... success!\n",TITLE_msg);

    if (RGBC.ChipSelect) cq_printf
        (" Analog RGB controller detect\n");
    if (LBUS.ChipSelect) cq_printf
        (" LocalBus controller detect\n");
    if (PS2H.ChipSelect) cq_printf
        (" Intelligent PS/2 controller detect\n");

    /* タイマ・コントローラ・リソース取得 */
    BLANCA_BIOS_GetResource(TIME_Signature, &TIME, 1);
}

```

タイマ割り込み処理の内容